

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	31	学校名	仙台市立国見小学校	校長名	宮崎 善功
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「国見エコ大作戦～身近なところからはじめよう～」



2 取組の紹介

① 環境委員会の取組

昨年度から引き続き、日常生活の中で、どうやって節電や節水につなげていくかを考え、活動に取り組みました。環境委員会の児童が、節電・節水についての効果的な方法について調べた情報を共有し、全校に発信していききました。

節電については、学校生活で電気を使用する場面から、エアコンの設定温度やテレビ・照明などの使い方の工夫について考えました。

節水については、トイレで流す1回の水量や、水を無駄にしない手洗いの仕方、掃除の際にできる工夫について調べました。

調べた内容をスライドにまとめ、昼のテレビ放送を使って、全校に呼び掛けました。ポスターを作成して各クラスに掲示を促したり、委員が各クラスを回って声掛けをしたりすることで、全校で節電・節水を意識して生活するように働き掛けました。

② 給食委員会の取組

残食やゴミの減量について、昼のテレビ放送を使って呼び掛けました。給食で飲み終わった牛乳パックのたたみ方を繰り返し動画で流して全校に呼び掛け、ゴミの量を減らすことにつなげようとしていました。

また、メニューの紹介で食材や献立に興味を持つことで残食を減らす工夫をしました。1月の給食週間には、クラスごとにカードを活用して普段より残食を減らせるように意識付ける取組を行いました。

③ 4学年の取組

総合的な学習の時間に、「環境守り隊」「SDGsを学ぼう」をテーマにして学習に取り組みました。「水問題」「ゴミ問題」「環境問題」などについて調べ学習をして、自分が行動できることを考えました。SDGsに関連して企業が取り組んでいることを調べ、新聞に分かりやすくまとめる活動も行いました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

授業で移動するときに、教室に誰もいなくなるときには教室の照明をきちんと消灯しようという意識が出てきました。トイレや流し場などでは、節電を意識して児童が進んで電気を消したり、声を掛けたりする様子が見られるようになりました。節電・節水に関する情報を参考にして、具体的にどう行動するとよいかを発信してきたことで、小さいことでも自分ができることをやっていこうという様子も見られました。

給食の牛乳パックは、小さくたたむことが習慣になり、ゴミの容積を減らすことにつながりました。

今後も環境問題を考えながら、身近でできることから取り組んでいきたいと思っています。